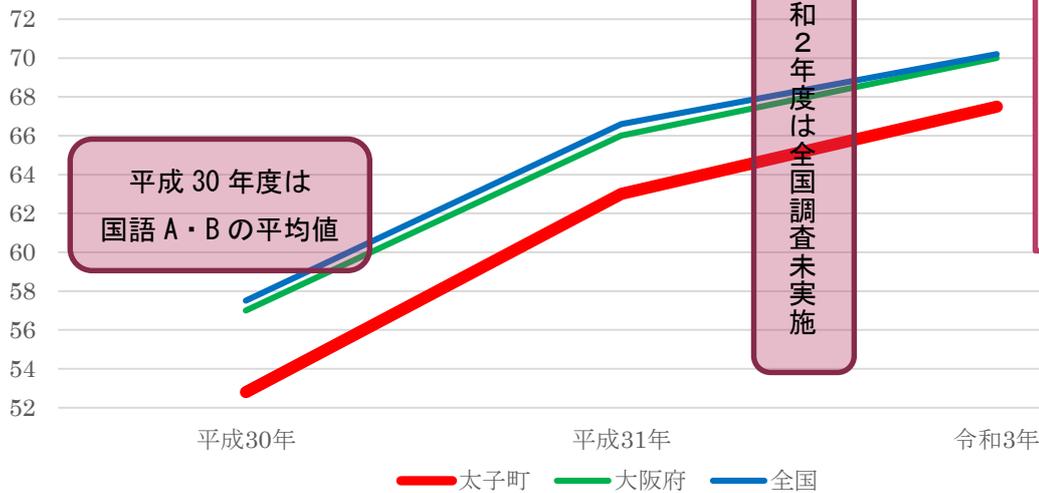


令和3年度 全国学力・学習状況調査

小学校算数

正答率比較

平均正答率の推移

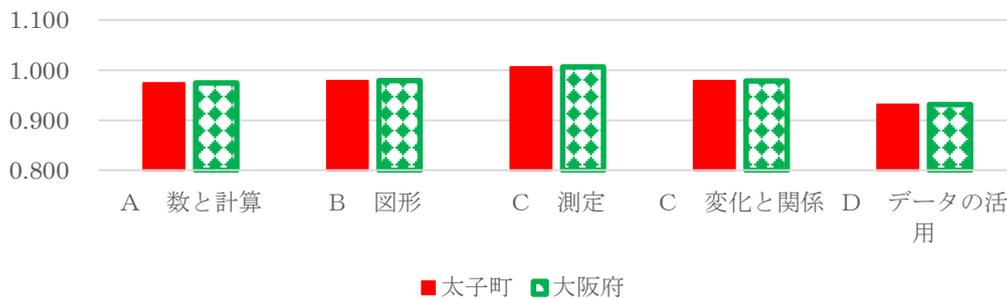


平均正答率は、67.5%で全国(70.2%)を2.7ポイント、大阪府(70%)を2.5ポイント下回った。



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較

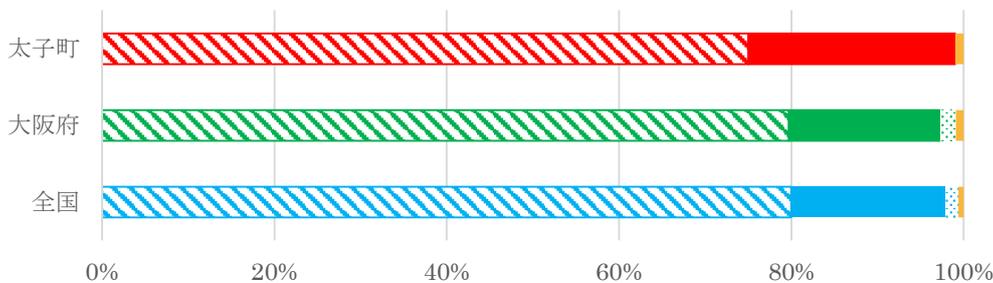


全国平均と比べ、特に「データの活用」に課題が見られる。

身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることについてできていない児童が多い。

児童質問紙より

今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



全ての書く問題で最後まで解答をこうと努力した

書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめものがあった

書く問題は全く解答しなかった

その他



成果と課題

平均正答率は、少しずつではあるが、上がってきた。

町全体の課題として、算数の問題に対し、粘り強く「いろいろな方法を考え」たり、「わけを理解する」など、授業の学習に対し、子どもが主体的に取り組むための「しかけ」や授業改善が必要である。

